

鹿屋体育大学との連携による おおすみくん家 スポーツキャンプ ～野球～

- 1 趣 旨 鹿屋体育大学との連携協力協定に基づき、青少年の体力・運動能力を踏まえたトレーニング法によるスポーツ技術の向上やコミュニケーション能力の向上を図り、青少年の自立を支援する。
- 2 共 催 国立大学法人 鹿屋体育大学
- 3 期 日 令和元年7月14日（日）～15日（月・祝）1泊2日
- 4 対 象 者 中学校の軟式野球チーム及び指導者、保護者
- 5 募集定員 120人
- 6 参 加 者 71人（中学生のみ） 指導者・顧問等10人 保護者等4人
鹿屋体育大学関係者42人（監督・部長等2人 野球部員40人）
- 7 指 導 者 国立大学法人 鹿屋体育大学野球部部長 前田 明 氏
国立大学法人 鹿屋体育大学野球部監督 藤井 雅文 氏
国立大学法人 鹿屋体育大学野球部員
国立大隅青少年自然の家 職員
- 8 日 程

7月14日（日）		7月15日（月・祝）	
12:10	受付（鹿屋体育大学）	6:00	起床・清掃・荷物移動
12:30	出合いのつどい（開会式）	7:00	朝のつどい
13:45	ウォーミングアップ	7:30	朝食
13:00	運動能力測定	8:30	鹿屋体育大学へ移動
16:30	測定終了	9:00	野球教室1
16:45	大隅青少年自然の家へ移動		※ポジション別に実施
15:15	オリエンテーション	11:30	昼食
17:30	入浴	12:30	野球教室2
18:30	夕食	15:15	練習終了
20:00	中学生：学習室にて自主学習	15:30	別れのつどい（閉会式）
	指導者：野球に関する学習会	16:00	解散（鹿屋体育大学）
22:00	就寝		

- 9 事業運営上の配慮
- （1）ポジションを中心とした班編制にして担当の大学生を決めることで、参加者の実態を把握し、それに応じた指導が行えるようにした。
 - （2）大学生のプレーを間近で見る時間やホームラン競争を取り入れて、野球に対する意欲の向上を図るとともに、野球に向かう姿勢や楽しさを感じられるようにした。
- 10 参加者の感想
- 体大生が分かりやすく教えてくれて嬉しかった。全体的に、みんなの野球のレベルが上がったと思う。（中学生）
 - この事業を通して他の中学校の人とも仲良くなり、参加してよかった。（中学生）
 - 子供たちが毎年楽しみにしています。多くの方と関わることができ、野球もですが人間的にも成長させてもらっていると感じます。（指導者）
 - 体大指導者の方々の最新の研究結果についてもご紹介いただき、大変有意義でした。自然の家の皆様も、スムーズな運営ありがとうございました。（指導者）
- 11 成果
- 少人数に分かれて、担当の大学生が手本を見せたり練習の目的を伝えたりしながら進めたことにより、参加者は真剣に練習に取り組むことができた。
 - 大学生のプレーを間近に見る時間を設定したことが参加者の野球への意欲につながっていた。

